

町政を問う！



答弁中の中嶋町長

広報紙の全戸配布は

区長会と協議

問

広報紙は、現在、区未加入世帯には、デメリットとして配布されていません。糟屋地区1市7町では、宇美・篠栗・須恵町を除いて、全戸配布が行われています。逆の発想で、全戸配布し、区への加入の呼びかけ等を行うことで、区加入率を上げるなど、デメリットをメリットへ変えることを考えてはいか

がでしょうか。

また、高齢者等の雇用安定のため、印刷業者から組合長までの配送をシルバー人材センターに委託するなどの取り組みについて、町長のお考えをお尋ねします。

答 中嶋町長

現在の組合（行政区）加入率は約66%で、各区においては組合加入率低下の問題に非常に苦慮されているところですが、



今村 桂子 議員

広報紙の全戸配布と組合加入率のアップというのはストレートに結びつくものではないと考えています。組合に加入していれば、広報紙を見なくても、区の役員からの報告や近隣の方たちの話の

中で情報を得ることができません。

本当にお知らせしたい人たちは、組合未加入の方であり、通知したい人に届いていないのが一番の悩みです。

27年度は、未加入の方とのコミュニケーションをとるために、全戸配布について、区

長会と協議を進めたいと思います。

配送業務の委託については、シルバー人材センターの受け入れが可能であれば、現在の委託契約が終了する平成28年4月以降の契約において、検討していきたいと考えています。



さまざまな情報が掲載されている広報すえ

須恵町をもっとPR、戦略的広報活動の推進を

素材づくりから

問

須恵町は自然に恵まれ、そこに住む人は穏やかでとても住みやすい町だと感じています。しかし、町民以外の人にとって、ここ須恵町の印象はあまりなく、通り過ぎて行く町と言う人がいます。それは、須恵町の知名度が低いことだと思います。

少子化による将来の人口減少を防ぐことや、町の活性化

のためにも、広報力の向上が必要と考えます。広報活動は、町のイメージをつくり、町に活気をもたらす、経済効果も期待できます。そこで、町内外に須恵町をPRし、戦略的広報活動を推進することを望みます。

今後の町の広報のあり方について考えをお聞かせします。

答 今泉総務課長

広報紙の内容では、糟屋地区の担当者で情報交換や企画立案を行い、26年度から糟屋地区の共同企画で、各町の記事を1市7町の広報紙に掲載しています。情報発信のひとつとして開設しているホームページは、宇美・志免・

須恵3町の共同調達で提供業者を一つにしており、安価で、すっきりとした見やすいものになっていますが、更新が少ないページもあります。コミュニティについては、27年度に地域イントラのネットワークを見直し、コミュニティ事務局からホームページの内容更新ができるよう検討しています。

また、防災無線は、電波法の規制を受け、防災あるいは災害の緊急放送用としての役割を果たすものであるという観点から、防災無線を使っているの戦略的な情報発信は難しいと思います。

答 中嶋町長

「まちおこし」をしたいという考えはありますが、町民ひとりひとりが町を愛し、この町がいいという声が聞こえるよう、また他町に発信できるように、行政としてPRする素材そのものを考えていく必要があると思っています。



松山 力弥 議員



須恵町のホームページ
<http://www.town.sue.fukuoka.jp/>